



会報



THE ROTARY CLUB 鶴岡ロータリークラブ
OF TSURUOKA

齋藤得四郎氏絵

会報はご家族みんなで読みましょう

第668回例会 1972. 8. 29 (火) 晴 No. 9

例回日 火曜日 12時30分
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
会長 阿 部 囊 幹事 市川輝雄

Let's Take A New Look. /
「もう一度 見直そう」

出席報告

| | | |
|-------|--|--------|
| 本日の出席 | | |
| 会 員 数 | | 63名 |
| 出 席 数 | | 51名 |
| 出 席 率 | | 80.95% |
| 前回の出席 | | |
| 前回出席率 | | 74.60% |
| 修正出席数 | | 52名 |
| 確定出席率 | | 82.54% |

欠席者

阿宗君、阿部(公)君、橋浦君、平田君、
五十嵐(伊)君、田中君、三浦君、岩網君
中山君、齋藤(栄)、齋藤(信)君、笹原君

マークアップ

阿宗君—山形RC
五十嵐(三)君—温海RC
藪田君—米沢RC
黒谷君、佐藤(昇)君—鶴岡西RC

■ビジター

田宮長二君—温海RC

栗本安基君、菅原松雄君、菅原年雄君、
菅沢久弥君、帯谷義雄君—鶴岡西RC

■司 会 阿部会長

■ロータリーソング 「奉仕の理想」

■会長報告

○先般のオハイオ州国際親善合唱団来鶴に際して寄せられました会員各位の協力に対し地区ガバナーよりお礼状がまいっております。

拝啓 今般R・I第667地区とR・I第353地区との国際親善プログラムによるオハイオ国際合唱団の来日、当地区での活動に際しては、各クラブより非常なご協力を賜りお蔭様で多大の成果を得、彼等一行は感激を新たにして去る8月13日、大阪空港より帰米いたしました。

茲に皆様の絶大なご協力を感謝して御礼申し上げます。

1972. 8. 15

ガバナー 飯島隆俊
パストガバナー 穴澤養一

○ヒックマン会長が特に青少年週間には有意義な行事を行って欲しい旨通知がまいりました。10月15日から10月21日までが青少年活動週間となっておりますので青少年委員会に依頼いたします。よろしくお願いします。

■幹事報告

○会報到着

天童・会津坂下RC

○例会変更

山形RC 9月6日 P.M5時30分 嘯月
酒田、酒田東RC 9月6日12時30分
産業会館3F

余目RC 9月2日 12時10分 商工会館
○インターハイ協力のお礼状がまいっております。

○9月5日合同例会のため会場をホテル山王閣3Fに変更いたします。このため理事会や誕生祝は9月12日変更いたします。

○1973年ロータリーダイヤリーの申込希望がありましたら事務局まで申込下さい。

▷ニコニコボックス

高橋正太郎君 国際理解と親善に牽先して奉仕された情熱に感謝して三井健前親睦委員長表彰

▷スピーチ

「鶴岡中央工業団地の開発計画」

海東与蔵君

〔位置等〕

鶴岡中央工業団地は鶴岡駅の北側で鶴岡第2中学校までの間、西側は青龍寺川までに至らず、茅原の道路までの全農地を造成して工業団地を造る計画が進められております。

この造成に当り、鶴岡市としては農地買収の斡旋はいたしました。これは「工場立地の調査等に関する法律」に基づき工場適地指定地域と都市計画法による工業団地造成であります。

〔総工事費〕

この総工費は2,286,000,000円です。この調達は

743百万円 公営企業金融公庫より
369百万円 地元金融機関より
778百万円 水田債と称する県の起債により
396百万円 純県費支出

で工事が進められるわけです。

[区画街路]

この団地は面積約 620,000 m^2 で水田の上に平均 60 cm の土盛りをほどこし南北方向に $\frac{1}{700} \sim \frac{1}{1,000}$ の勾配をとりつけて水はきを良くしております。

街路については団地内を東西に横断して国道 7 号線に連絡する幅員 16 m の輸送幹線道路と、南北に通じ鶴岡駅に至る並木街路と名附ける幅員 12 m の街路を取付ける構想です。この団地は 21 区画の用地が出来るわけですが、その中を幅員 12 m 、9 m の補助道路を取付けします。

[用水]

用水については団地内に水道を布設しますが、現在の水道から水を引くのではなく、団地内の地下水を利用した用水で工業用水と飲料水を低廉な料金で利用出来るように計画されています。

[排水]

工場排水用の下水道管と雨水排水用道路側溝を作り赤川に放流します。只工場排水の一次処理については各企業毎で処理していただくことになります。

[分譲宅地関係]

造成面積は坪数で約 187 千坪ですが道路側溝公園緑地帯等を取って純分譲地は約 165 千坪です。この中で、工場用地は真中部門で 13 の区画に分けられます。

鶴岡駅北側は商業用地で 3 区画、ずっと北に行って第 2 中学校東側が住宅用地で 3 区画更に西側の電車線の北側に輸送用地 1 区画がとられ、全部で 21 区画となる予定です。

[分譲価格]

| | | |
|-------|------------|----------|
| 工場用地は | 1 m^2 当り | 3,800 円 |
| 輸送用地 | 〃 | 3,800 円 |
| 住宅用地 | 〃 | 7,000 円 |
| 商業用地 | 〃 | 10,000 円 |

[代金支払の方法]

支払方法は一時払となっております。分譲契約をしたとき 20% の支払、残金はその後 60 日以内に支払っていただきます。

[造成工事]

48 年 3 月までに道路工事で下水道管の埋設と約 20,000 m^2 の土盛りを完了し、48 年 4 月から一部土地を引渡し 48 年 10 月に全部の工事完了の予定である。

[工場の建設の制約]

工場建設は土地引渡しを受けてから 2 年以内に着工し、その後 3 年以内に操業していただくこととなります。

[地方税の減免]

この団地に入居する企業には、農村地域工業導入促進法が適用されますので、次の優遇措置が受けられます。

○生産設備の特別償却

(償却資産を 500 万円以上取得した場合)

○事業用資産を買換えした場合の譲渡取得の課税の特例

○県税の減免

(償却資産を 1,000 万円以上取得した場合)

事業税——3 年間

不動産取得税

○市税の減免

(償却資産を 1,000 万円以上取得した場合)

固定資産税——3 年間

工場用地 130 千坪、輸送用地 11 千坪、住宅用地 10 千坪、商業用地 9 千坪、区画 21 区画の構想で団地の形成が現在進行中であります。

内陸では東根に大型の内陸型工業団地の造成を行っております。鶴岡の場合は大型ではなく拠点開発地域としての一つの形成をなしてゆくものと思われまます。

現在地元の入居希望者は 10 社程度ですが、県外からの希望は未だ出ておりません。県も市もこの地域での中核となる企業の誘致に努

力いたしております。

この鶴岡中央工業団地の一つの使命は田川地区の過疎対策の一環としての意味があるわけです。この団地に骨格となる優良企業を誘置き、そして下請工場と云うすそ野を広げて地元の農村地帯の過疎対策解決の一環としたいと云う構想が含まれているものと思われま

す。先日知事も農工一体化を叫ばれておりましたが、一村一町一工場の構想は消極的で国の方針も同じ様であります。むしろ工場は一つの団地に集約化しよう、そうすれば污水处理施設、電力・電話設備の公共整備は工場が一つよりもより多くの工場が集約した方が経済的であると云う着想でありましょう。したがってこの鶴岡中央工業団地も以上の構想の中から出発したものであり、少なくともその団地中に働く従業員をとらえてみても過疎対策の一環として、とらえられるべきものと思

います。次の機会がありますればこの鶴岡中央工業団地が更に何をもちたらすかのスピーチを用意いたす所存であります。

▷交換学生の受入れについて

三井分区代理

当地区としては今年の交換学生は4～5名の交換予定をたてております。派遣希望者が9名程ありますが受入希望のクラブが無く交換が出来なく困っております。オーストラリアの場合1月が始学期の為手続面もあり、いそいでおります。地区として、この受入のため180万円の予算はありますが、交換学生を受入れたクラブの会員に夫々年間1万円拠出していただき、交換学生受入の年支出は60万円程度と思われるので少人数のクラブにはその差額金を補助して、少人数クラブでも受入しやすい方針を立てました。会員皆様の良い

アイデアで一日も早く交換学生の受入れについて解決しますようご協力いただきたい。